

# 平成26年9月10日 防災訓練実施

## 1 地震発生～重要施設(添架管) 確認・報告訓練



## 2 被害集中地域での現地対策本部確立訓練



## 移動式ガス発生装置組立訓練



## 3 すべての訓練完了後～整列



### 今年度 防災訓練 概要

東日本ガスでは、全社員と協力企業を対象とした毎年の総合防災訓練や、地震時に初動対応の要となる出動報告訓練を行っています。さらに、自治体との合同訓練に参加し、社員各自が万一の際に的確な行動をとるための体制を日頃から整えています。今年の防災訓練は、茨城県沖を震源とするマグニチュード6.4(震度6弱)の直下型大地震が午前5:30に発生したという想定のもとに実施しました。

今回の訓練は宿直保安責任者による災害対策本部の確立から始まり、Eメールによる連絡訓練や携帯端末による被害状況報告訓練を実施しながら、ガス不良やガス漏れが集中した地域での二次災害拡大の防止を目的に供給停止の判断と現地災害対策本部の確立を行いました。現地ならびに本社では電話網が不通の場合に備えて無線・衛星電話による交信訓練ならびに供給支障に備えて移動式ガス発生設備設置訓練を実施しました。特に今回より確実な初動体制がとれるかどうか、状況報告～連絡～災害対策本部での判断といった流れが的確にとれるかどうか、また予め定められた各作業班がその責任者の指示で的確に作業ができるかといった実践的な訓練を行いました。

24時間365日、いつでも便利に安心してガスをお使いいただくために、東日本ガスでは耐震性の高い導管網の整備を柱とする「予防策」、大きな地震が発生した場合に備え、ガス供給停止によるご不便を最小限に抑える導管網をブロック化する「緊急対策」ならびにガス供給を停止したお客様のご不便を速やかに解消する移動式ガス発生装置による供給再開をめざす「復旧対策」の3つの取り組みを今後も継続して地震防災対策に取り組んで参ります。